

平成 23 年 (2011 年) 3 月 19 日 茨城県北部の地震 (M6.1) に関する 合成開口レーダー解析結果

平成 23 年 (2011 年) 3 月 19 日 18 時 56 分, 茨城県北部で発生した地震 (M6.1) に関する, 「だいち」 PALSAR データの解析結果を示す.

■ 地殻変動の特徴

- 1) 地殻変動は北茨城市から西十数 km の領域に集中しており, 最大約 40cm の衛星-地表間の距離伸張が観測された.
- 2) 最大の地殻変動が観測される領域では, 変位の不連続が認められる.
- 3) 干渉画像をもとに矩形断層一様すべりの震源断層モデル (2 枚のセグメントを仮定) を構築した. 主な特徴として, ①南西傾斜の断層面 (傾斜角 $60\sim 70^\circ$), ②北北西 (北西) - 南南東 (南東) 方向の走向, ③正断層型の断層運動, ④最大変位域の直下のごく浅部に局所的な滑り, 等が挙げられる.

